

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	
1																	<様式10-1>	
2				令和7(2025)年度 児童館事業年間活動報告書												清水児童館		
3				参加人数														
4			活動名	実施回数	乳幼児	小1~3年	小4~6年	中学生	大人	ボランティア			合計	内 容		成 果 と 課 題		
5					自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ		中学生	大学生	大人						
6			(1) 日常の自由遊び活動															
7			(2) 遊びの教室活動															
8	子ども育成機能	基本活動	遊びの教室 七夕飾りを作って飾ろう	6		10								16	七夕笹飾り工作や短冊に願い事を書いて飾る	<ul style="list-style-type: none"> ・季節行事に向けての飾りやグッズ作りを、見本や作り方の提示と、豊富な素材を準備してコーナー展開をすることで、自分なりに工夫した個性豊かな飾りづくりが出来た。七夕飾りについては、参加者は少なかったが、七夕お楽しみ会に向けて良い環境作りにもなった。下校時間が遅い子どもも参加しやすいように、一定のパーツを準備したことで、余裕をもって作る事ができた。 ・友達が作っているのを自分でもやってみようとする姿や、作った後にコツを教える姿も見られた。 		
9			(3) 行事活動															
10			七夕お楽しみ会子ども実行委員会	4				7							7	七夕お楽しみ会に向け、子ども実行委員を募集し、7人がメンバーとなる。企画内容について話し合ったり、役割分担や準備、司会の練習などをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスター作り等子どもが意欲的に取組み、役割分担では自分のやってみようという希望を出し合って決めた。全員が揃わない日もあったが、打ち合わせをして練習する姿や、当日の参加者の様子を見ながら、随時これはこうした方が良いのではないかと提案して実践することができた。 ・実行委員会参加への本人の意欲を保護者にも伝え、子どもの達成感を満たしていけるように対応できた。 	
11			七夕おたのしみ会	1		1	20	2	9							33	七夕お楽しみ会に子ども実行委員会の企画・進行で伝統的な季節感ある七夕の季節のお楽しみ会を実施。「ジャンプ星貼り」「星見つけ」	<ul style="list-style-type: none"> ・「ジャンプ星はり」については、全員に体験してもらいたいという実行委員の思いを尊重し、全員が体験できる流れを作ることで、みんなで楽しさを共有することができた。
12			マンカラ大会	1				7		4						11	マンカラ週間で練習してきた成果を生かし、ルールを守って大会に挑む。	<ul style="list-style-type: none"> ・総当たり戦で勝利数の多い子から順位を決定する。全員が常に誰かと対戦するので空き時間も集中して良い対戦ができた。 ・今年度は初の全勝者がひとり出て、全敗した子ども途中で投げ出すこともなく、自分の意志で最後の表彰式まできちんと参加することができた。
13	わんぱく探検隊「ボウリングに行こう！」	1				23	3	9							35	・館外に出かけて様々な体験を通して交流する。公共の場でマナーを守り、安全に過ごす。	<ul style="list-style-type: none"> ・「ボウリングに行こう」参加者が多いことも予想されるため、職員の体制的にも児童館事業と学童クラブの合同開催として行なうこととする。 ・移動時点呼の学年ごとの整列やレーングループでの集合など、場面場面で指示をすることがあり複雑であったが、はぐれることなく過ごすことができた。職員の仕事や配置を考慮したことにより個別対応の必要な児童も含め、大きなトラブルなく実施することができたパスの中で交流したり、互いのプレイに声援を送ったり拍手をするなどの姿が見られる良い機会となった。 	
15			Let's子ども百鬼夜行子ども実行委員会	5			11	1	20							32	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員を募集し、当日の室内遊びの内容決め、それに伴う準備物製作や役割分担、司会の練習などをする。 ・今年度は、総合庁舎内へパレードをし、東山図書館、老人福祉センター、青少年活動センターの3か所お菓子を渡してもらう。 ・事前に依頼をして許可を得ておき、実行委員の子どもたちがお菓子を持って行き挨拶をしに行っておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・百鬼夜行に向けて、楽しみながら当日に役割分担して準備を行なう。 ・当日の進行役となって参加者にルール説明をしたり、遊びの盛り上げ役となる事ができた。 ・今まで以上に楽しい遊び体験をしてもらえるように相談を繰り返し、積極的にアイデアを出し合っていて楽しくすごせるようにと活発な意見を出す姿が見られた。 ・楽しい遊びとなるために巨大な制作物も必要となったが、協力しあいそれぞれが達成感を持つことができた。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q		
16		基 本 活 動	Let`s子ども百鬼夜行	1		7	16	7	3							33	<ul style="list-style-type: none"> ・企画や進行は子ども実行委員会のメンバーが担う。 ・百鬼夜行に因んだ室内ゲーム「妖怪バスケット」「おれでキョンシーやっつけろ!」「血の池パルーン」を展開後、パレードして連携先のポイントでおかしをもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども実行委員の子が、当日までに準備してきた遊びの進行をし、参加の子どもたちはルールに従って皆が遊びを楽しむ。楽しくなるようにと繰り返し内容について相談した効果もあり、遊びは盛り上がり、子どもたちは大喜びで楽しむことができた。 	
17			冬休みおたのしみ会子ども実行委員会	3					1	10						11	<ul style="list-style-type: none"> ・冬休みお楽しみ会に向けての子ども実行委員を募集し、遊びの内容を企画し準備する。 ・役割分担をして当日の進行をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた時間の中で、メンバーは自分の意見を出して調整しながら、準備をして当日に向けることができた。 ・時間がないので、出し合った意見の中から一番実現できそうな内容のものをするに企画することとなった。 ・準備物を作成する時間にメンバーが集まらない分を他の日に調整して行ったり、一部職員が担当する場面もあった。 ・下校時間が遅かったり、習い事や体調不良で休む子もいて準備が思うように進まないため、メンバーのモチベーションを高めながらもスムーズに準備しているように支援することが必要であった。 	
18			冬休みお楽しみ会	1			12			6							18	<ul style="list-style-type: none"> 子ども実行委員会のメンバーが企画し準備をして進行するお楽しみ会「雪だるま的たおし」、「雪だるまの爆弾ゲーム」をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども実行委員が主体的に動き、参加者も積極的に参加し楽しんだ。的倒しでは応援し合う姿や拍手をする姿が見られた。ドキドキワクワクを共に楽しむひとときとなった。
19	子ども育成機能		節分おたのしみ会子ども実行委員会	6						12							12	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員を募集し、当日のお楽しみ会でどんな遊びにするかの話し合いをして決めたり、役割分担や利用する道具類の作成をして準備をする。 ・参加者募集のポスター作りなどの作成や司会の練習などをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当初3名のメンバーが申し込んだが、そのうちの5年1名が学校の校外学習日と重なり初日以降辞退する。 ・下校時間や都合で活動の設定日と時間が合わないこともあり、当初の日程とは別に、メンバーの都合のいい時にできる準備を、随時進めていくこととなり、メンバー2人が協力し合って手際よく準備をしていた。 ・当日の参加者の動きを想定して、いろいろなパターンを準備し、場面展開に応じたセリフを考えて打ち合わせていた。 ・準備物については、何秒以内に釣るのか、一度に何名が何回するなどのルールを先に決めて、実際にやってみて必要な数と呼んだほうが、無駄な準備をしなくて済んだ。
20			節分おたのしみ会	1			12			4							16	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども実行委員会の企画・進行のもと、伝承的な節分についての由来等を知ったり節分に因んだ遊びを体験する。 ・実行委員会が企画した「節分豆釣り」に、希望者が参加し体験する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員の当日の下校時間が遅いため、早く登館する低学年の子どもたちに、あらかじめお楽しみ会でする内容についての周知をし、予約受付を始めておき、本番がスムーズにいくように支援した。 ・参加の子どもたちに、当初混乱を防ぐために数名ずつ入室してもらって実施する予定であったが、子どもたちの意見には、みんなのを見たいとのことであったので、想定していた応援ゾーンに入ってもらって行う。応援し合う姿が見られた。
21			(4) クラブ活動																
22		むかしあそびクラブ	34				119	5	44			3				171	<ul style="list-style-type: none"> ・「こま」「けんだま」などの伝承遊びを楽しむクラブ活動。「けんだま」の検定試験も実施。 5月 こま回し 6月 けんだま 7月 あずきひろい 8月 しょうぎ 9月 あずきひろい 10月 こま回し 11月 はないちもんめ（みんなの宝箱=意見箱から） 12月 けんだま 1月 あずきひろい 2月 こま 3月 けん玉検定 	<ul style="list-style-type: none"> ・定番の遊びに加え、子ども達の遊びの幅を広げられるように工夫できた。また「みんなの宝箱」（意見箱）に入っていた「はないちもんめ」の遊びも取り入れ、子どもたちの意見を取り入れることができた。 ・テラス遊びの時間帯と併行して実施することが多いので、予定をボードに書いて周知したり、個別に声掛けをするなどして参加率が上がるように工夫をした。 ・参加した子は意欲的に取組み、多岐に渡る遊び体験ができたが、参加したことのない子どももいるので、更に興味を持って参加できる内容を計画していきたい。 	

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q		
29	子ども育成機能	基本活動	京都やんちゃフェスタ (同時開催 京都版ミニ・ミュンヘン)													<ul style="list-style-type: none"> ・京都市内の児童館・学童保育所が一緒につくる児童館祭り。やんちゃフェスタ内で左京東山ブロックの児童館・学童保育所が「ミステリーパーク」の中に3つのコーナー遊びを展開する。今年度は、京都版ミニ・ミュンヘンも同時開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当日実行委員はコーナー遊びを展開。引率については、前日の段階で何度も天気予報を確認して引率をしないことに決定し、学童クラブの子どもたちは参加しなかった。参加の子どもたちに様々な体験を提供し、繰り返し楽しんでもらうことができた。 ・実行委員からミニミュンヘン担当者を出すことで、やんちゃブースでの担当者数が少なくなるのに、より多くの楽しさを体験させてあげたい思いで、めいっばいの内容を提供していたため、忙しかった。 ・コーナーでミニ・ミュンヘンからのお仕事体験を受け入れ、役割を担っている子どもたちは目的を持ち責任感を持って仕事をしてくれ、コーナーとしても助かったが、求人枠のない時間帯に仕事を求めてきたり、ミニミュンヘン出張ハローワークとの連携上の混乱など発生していた。 		
30																			
31			(6) 配慮を必要とする子どもへの対応	随時														<ul style="list-style-type: none"> 自由来館時や事業展開の中で対応 ・職員と介助ボランティアで体制作りをして見守り、本人の困りに気づいて対応したり、他の子どもたちとのトラブルにタイミングよく対応できるような配慮を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援学級の子が良く来館し、自由来館児童や学童クラブの児童と一緒に交わって遊ぶことができるよう支援ができた。 ・また、学童クラブ児童の中の支援の必要な子どもたちについては、自由遊びや事業の中でも、職員と介助ボランティアで体制作りをして見守り、本人の困りに気づいて対応したり、他の子どもたちとのトラブルにタイミングよく対応できるように配慮した。
32			(7) 中高生世代の活動支援																
33			中高生タイム	183								383					383	<ul style="list-style-type: none"> ・中高生の居場所づくりとして毎日の中高生タイムを実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定例の活動時間には都合がつかないことが多く、自分たちの空いた時間に自由に利用する参加者が多い。その中で中学生自身発信の企画の計画や展開までには至らない。学校帰りに、学校や家庭、進学などについての悩みなどを職員に話しに立ち寄る時もある。 ・バスケットやサッカー等、テラスでのスポーツを目的に友達と利用したり、気分転換に職員と話をしに来る姿が見られた。思春期児童に寄り添いながら対応していきたい。
34			中高生タイム(バスケット)	12								8					8	<ul style="list-style-type: none"> ・中高生の企画デー「バスケットしようデー」として集合した際に、自分たちのしたいことを実現できるように話し合ったり企画に向けての計画をする機会とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの企画を実際に計画して行事企画をするまでに至らず、バスケットや室内でのゲームをして過ごす機会となった。 ・バスケット以外にも、自分たちでしたいことを提案して、企画について話し合うことは可能なことも伝えていきたい。
35			(8) 子ども相談・援助活動																
36			(9) エコ活動																
37			リサイクル工作「牛乳パックでばっちゃんガエルを作ろう！」※チャレンジクラブ	1				21	2	7							30	<ul style="list-style-type: none"> ・エコを意識して、様々な制作遊びが体験できる機会を作る。 ・乳幼児事業の中での手作りおもちゃ作り 乳酸菌飲料の空き容器やプリンやゼリーの空き容器等を利用したガラガラや音の出る楽器作りなど。 	<ul style="list-style-type: none"> ・0歳児教室や乳幼児さんよっといデーの取組の中で乳酸菌飲料の空ボトル等でガラガラやマラカス等、音の出るおもちゃ製作や、チャレンジクラブの取組で牛乳パックを利用したバッチンガエル製作、ニコニコデーで児童館にある多量の廃材利用をした自由工作をし、使い終わったらゴミにするのではなく、こうして利用すれば玩具を作って遊べるということを伝える機会となった。
38			ニコニコデー「廃材利用でおもちゃ作り」	1				12	1	4							17	<ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジクラブ「バッチンガエルを作ろう！」 ・ニコニコデー「廃材利用でおもちゃ作り」 	
39	年末大そうじ	1				22	3	8							33	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃利用している児童館内を、みんなで手分けして掃除したり、整理整頓する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担当分けをして、同時進行で掃除していく形にして実施。子ども達は、熱心に取り組む姿が見られた。 		
40	ゴミの分別	随時														<ul style="list-style-type: none"> ・燃やせるゴミ、プラスチックゴミ等、分別できるように、日頃から児童館の環境の中にゴミ箱を分けて設置しておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・従来から施設内に分別できるようにゴミ箱を設置しているが、再度意識づけていくための学習の機会は日常的に行っていないが、特に講師に来てもらっての取り組みはしていない。 		

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q		
41			ニコニコデー	1			12	1	4							17	・エコ活動で工作をしたり、エコまちステーションとの連携の取り組みを通して、環境学習的な取り組みを行うことや、そこから発展させて、人と人が笑顔で過ごせることを考える機会とする取組。 ・今年度は、エコまちステーションが多忙で講師となつてきてもらうことはせず、独自でエコについて考えられるような話をした後に工作遊びを行った。本来捨てるはずだった物もその素材を生かして、個々にイメージしたおもちゃや身に着けるものなどに生まれ変わらせて再利用できることを子どもたちも喜んでた。		
42			子ども用品・子育て用品「譲ります！貰います！」事業	随時													・子どもの成長とともに使わなくなる子育て用品・子ども用品を譲り合うことで、エコの推進と子育て世代の交流を図る取り組み。 【ゆずります・もらいます掲示板】を設置し、利用者がそれぞれ要らない物、欲しい物を専用の掲示用紙に記入し掲示板に貼りだす。 ・児童館で使ってくださいと申し出はあつて受け取ることはあつたが、当事業を広く周知できておらず、活発な展開ができていない。なお、過去には「子ども用品・子育て用品ゆずります！もらいます！」の木製掲示板が存在していたが、老朽化で現存していないままである。		
43			(10) 中高生と赤ちゃんとの交流活動														・令和2年度（2020年度）からは、すべての児童館に置いて実施することとされているが、赤ちゃんと思春期児童が関わり合えるプログラムづくりについての異なった取り組み内容や展開について実施できておらず、たまに午後から来館した乳幼児親子が、学童児童など小学生以上の児童との接点があり、乳幼児に接する子どもたちに向けての理解と協力は随時その場をお願いをして、貴重なひとときを体験している状況である。		
44			合 計	313	0	8	514	42	283	391	3	5	0	0	1247				
45																			
46	子 ど も の 育 成 機 能	推 進 活 動	(11) 子どもが地域を知る活動																
47				防災訓練	12		2	181	8	59	2	36					288	・地域に東山消防署があり、そこで働く人を知るとともに、地域で起こる災害について考えたり、実際に火災や地震の災害が起こった時にどうしたらよいかを知る機会や学習の機会となった。 ・DVD教材を使用し、子ども達にとって分かりやすく防災学習が出来る。 ・学習で学んだことを活かし、実際に避難訓練を実施できた。避難時、集中力が欠けてしまつてしまった。再度、訓練は遊びではないことを伝えた。 ・東山消防署の方に年度末に子ども達に避難する時のポイント話をしてもらい総括をする。子ども達は熱心に聞いていた。また、職員の動き方や、実際に火事が起きた時の職員の役割分担などのアドバイスを頂いた。今後も、連携をとりながら子ども達やその過程に向けての防災意識を高めていけるよう努めていきたい。	
48				交通安全教室&ワークショップ	1			8		3		3					14	東山警察署の方による、交通安全教室とワークショップ ・夏休みに東山警察署の交通安全課に来て頂き、地域には東山警察署があり、そこで働く人の存在を知ることができた。 ・通学や児童館への行き来他の生活の中での交通安全に気を付け、自転車の安全な乗り方と夜間に目立つ色について講話とうちわ作りを実施。熱心に取組む子ども姿が見られた。	
49				防犯教室	1			16	5	7		1						29	東山警察署のスクールサポーターの来ていただき、不審者に遭遇するなど、いざという時に備えてクイズ形式による学習ができた。子ども達が興味を持って意欲的に学習ができるような工夫された教材を持参していただけて良かった。
50				Let`s子ども百鬼夜行	1		7	16	7	3								33	・企画や進行は子ども実行委員会のメンバーが担う。 ・妖怪等の衣装を身に付けて庁舎内の図書館、老セン、青少年活動センターをポイントにパレードして連携先のポイントでおかしをもらう。その後、百鬼夜行に因んだ室内ゲーム「妖怪バスケット」「お札でキョウシヤやつける！」「血の池パルーン」を展開。 ・パレードをして立ち寄ったそれぞれの連携先では、事前に行方委員の子が渡してもらった物を持ってお願いをしていたお菓子をプレゼントしてもらった。 ・戻ってきたら子ども実行委員の子が当日までに準備してきた遊びの進行をし、参加の子どもたちはルールに従って皆が遊びを楽しむ。楽しくなるようにと繰り返し内容について相談した効果もあり、遊びは盛り上がり、子どもたちは大喜びで楽しむことができた。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q			
51	子 ど も 育 成 機 能	推 進 活 動	東山老人福祉センター 同好会発表会・作品展 で発表しよう！	1			8		5		4				17	・東山老人福祉センター及び発表会の幹事会の主催で実施され同好会発表会・作品展における多世代交流の機会に、事前に募集をかけた子どもたちによる、フラフープ演技やダンス等のステージ発表及びラキューの作品を紹介する。	・事前に募集した出演者とその保護者の希望者や学童クラブの中で見学を希望する子どもたちが参加する。子どもたちのダンスやフラフープ回し、作品紹介に会場の多世代の方々が手拍子やダンスの真似をしてくださる姿や、ラキューの大阪城などを見て感心して驚いておられる姿が見られ、交流のきっかけにもなり、作った子どもたちにとっても貴重な体験ができた。			
52			六原フェスタ（六原学区の文化祭）	1													六原自治連合会主催。ステージ催しと作品展示 高学年クラブでの作品を展示する。 日曜日開催で職員3名で「サイコロでジャンケン」の遊びコーナー展開。 児童館だよりやポスターなどで周知。	・今年度は雨天のため、六原学舎内で実施。ステージ催しと模擬店やゲーム、作品展示の地域の文化祭。児童館からは職員のゲームコーナーと高学年クラブや児童館の子ども達の作品展示で参加。児童館として地域住民の方とふれあいながら準備し、地域の方と交流しながら児童館をPRする良い機会となった。 ※参加者数記載なし		
53			「東山ふれあいリレーマラソン」に参加しよう！	1				10		5						15	はぐくみネットワーク実行委員会主催の取り組み	・今年度は、開晴小学校第2アリーナで開催されることもあり、館長は「東山区はぐくみネットワーク実行委員」のスタッフとなり事前の打ち合わせから参加。児童館からは申込みのあった学童クラブ児童を引率して参加。地域の多くの役員さんや参加の方々に受け付けてもらったり、声援を受けたり、参加賞をもらうなどして触れ合うひとときも持てた。		
54			(12)移動児童館																	
55			おでかけぼっぼ（善立寺保育園）	11	5								4				9	・日常来館しない子どもを含めた地域のすべての子どもと乳幼児親子や地域の人を対象に地域に出かけて行って遊びの活動を行うことにより、児童館活動を地域に広報し、児童館の利用促進、子育てや健全育成に関する啓発を目的に行う活動。	・乳幼児事業「おでかけぼっぼ」として、近隣の保育園（善立寺保育園、しんかくじこども園）の園庭開放に参加する。	
56			おでかけぼっぼ（しんかくじこども園）	11	2								2				4	・つどいの広場「どんぐり広場」の取組「とび出せ!!どんぐり広場」と連携した取り組みを行う。	・「左京東山児童館学童保育所まつり」での一日児童館については、今年度は全市やんちゃフェスタ実施で、雨天予報のため引率はしなかった。	
57			ふわりん横丁で児童館の乳幼児の取組タイム	1	5								5				10			
58			(13)大学生と勉強をしよう！	17				405		144						17	566	・地域の子ども達の安心・安全な居場所である児童館という施設の特徴を活かし、大学生の協力を得て「学習習慣の確立」など、子ども達の生活支援を原点とする活動にしていこうと目指した取組。	・大学生2名が、学習支援ボランティアとして登録し、子ども達の宿題をみてくれた。その後も一緒に遊び、子ども達との信頼関係も築くことができた。個別対応の必要な子たちへの関わりも上手に対応してもらっていた。次年度は継続も困難なようなので、登録者を持つ状態である。大学生の学習支援ボランティアに登録してくれる大学生となっていくくれるよう、遊びのボランティアの高校生がうまく引き継いでいってくれるよう期待している。	
59			(14)伝統文化に触れる活動	0																・老センの発表会や六原フェスタ等地域の行事の中で間接的な伝統文化に触れる機会は持てたが、特に児童館が中心になって計画して実施して取り組んではない。
60			合 計	56	12	9	644	20	226	2	55	0	17	0	985					
61			子ども育成機能 合 計	369	12	17	1158	62	509	393	58	5	17	0	2232					
62																				
63																				
64			*注 基本活動は、指針に基づき(2)遊びの教室活動(3)行事活動(4)クラブ活動(5)地域間交流促進活動(6)配慮を要する子どもへの対応(7)中高生世代の活動支援(10)エコ活動に分類して記入すること。																	
65	推進活動は、指針に基づき(11)子どもが地域を知る活動(12)移動児童館活動(14)伝統文化に触れる活動に分類して記入すること。																			

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	T	U	
24	子ども 家庭 支援 活動	基本 活動	0歳児教室 乳幼児教室	7	22						24				2	48	<ul style="list-style-type: none"> 0歳児からの乳児親子の教室 前期後期実施 <前期> ①5月21日 手作りおもちゃ作り ②6月25日 東山図書館の方による子育て講座「赤ちゃん絵本」 ③7月2日 短冊に願いを書こう♪ ④9月3日 歯科衛生士の方による子育て講座「口の中の発達と虫歯予防」 ⑤9月24日 はぐくみ室の方による子育て講座「赤ちゃん心の成長」 ⑥12月3日 親子でクリスマス ⑦1月22日 くつしたパペットをつくろう♪ ⑧2月4日 手形・足形プラバン作り 	<ul style="list-style-type: none"> ・母親だけでなく父親や祖父母等、層を広げて募集。 ・参加者がシリーズの中で継続して参加するケースが年々少なくなってきたので、前期と後期を同内容で行うシリーズ化を途中で撤廃して、年間通してその都度参加者募集をして随時登録と考えて実施することとした。 ・連携事業での「0歳児教室」のPRや登録受付をしたことで、参加申込みに繋がり効果的であったが、当日の天候や都合で欠席となることもあった。 ・取組の中で0歳児対象ではなく、0歳児以上も参加出来るようにしてほしいとの声があり、シリーズの途中で名称を「乳幼児教室」に変更した。 ・今後も、充実した活動を提供を目指し、関係機関と連携して実施していきたい。 	
25			おでかけぼっぼ（善立寺保育園）	11								4					9	<ul style="list-style-type: none"> ・参加申込者が少なかったが、気分転換に砂場遊びを体験させたい、異年齢の交流も楽しませたい、どんな園が見たい等の参加者にとっては、貴重な活動であり喜ばれている。 	
26			おでかけぼっぼ（しんかくじこども園）	11	2							2					4	<ul style="list-style-type: none"> ・遊び相手やお話し相手になりながら、保護者のニーズを探ったり、家での日頃の過ごし方について把握するとともに、子育てや健全育成に関する啓発を行う。 ・児童館の乳幼児事業についての紹介や、おたより配布などを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本、雨天は中止ということで、月齢や上の子と一緒に0歳児の月齢の低い子を同行して来られた場合など、保育園側も臨機応変に室内で対応してくださる参加者も喜んでおられる。
27			とび出せ!!どんぐり広場（つどいの広場との連携）	24	126								143					269	<ul style="list-style-type: none"> ・親子が少ない地域で単独開催では難しいことから、児童館との連携をして相互に広報をする。 ・今年度は特に職員も講演会に参加したり、手作り工作を保護者に交じって一緒に体験参加したりしたこと、より保護者との交流も多く持つことができた。 ・コンサートは児童館の「乳幼児さんよっといデー」の名前を表に出して実施するなど変更したことで、連携して一緒にいることが理解しやすくなり、保護者にとっても参加しやすい雰囲気を作れた。 ・地域の子育てサークル「ひなたぼっこ」と連携して開催される日には、サークルメンバーが参加され、児童館からの活動のPRをする良い機会となった。 ・間接的に地域の子育てサークルを支援していくこともできるので、児童館としても繋がりが持てることも、ありがたい。今の参加メンバーが保育園に入園されるなどもあり、サークルの次期メンバー確保やリーダー後継者などの課題もあるが、次年度も同様の方法で展開されるので、間接的に支援していく。
28			あかちゃんお楽しみ会（図書館との連携）	12	54								56					110	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館が開催する乳幼児親子向けのふれあい遊びや絵本の読み聞かせ

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	T	U	
29	子ども家庭支援	基本活動	すくすくひろば	1	37						39				76	・東山区地域子育て交流事業「すくすくひろば」実行委員会（東山区内の児童館・つどいの広場、東山区社会福祉協議会、東山区役所子どもはぐくみ室が実行委員となり、東山区内の保育園（所）・認定こども園・幼稚園・東山区民生児童委員会、東山区町中図書館プロジェクト、京都洛東ロータリークラブなどの協力を得て遊びのコーナーやステージ、工作等の東山区内広域の広場を展開	・東山区内の関係機関が連携し、乳幼児向けのいろいろな遊びのコーナーやステージを、協力し合って実施。「すくすくひろば」の参加者同士、参加者とスタッフ、スタッフ同士が、広場を通して交流できた。		
30			合計	203	512	0	0	0	0	0	0	475	0	0	2	989			
31						子どもの年齢	件数	受 理 及 び 相 談 経 路					件数	相 談 内 容			つないだ機関等	件数	
32					(3)子育て家庭相談・援助活動	乳児	1	児童館にて直接受理					1	健全育成問題			小学校	1	
33				幼児		児童相談所					家庭養育問題								
34				小1～3年（自由案館）		保健所					成長・発達問題								
35				小1～3年（学童）		子ども支援センター					教育問題								
36				小4～6年（自由案館）		主任児童委員					非行・問題行動								
37				小4～6年（学童）	その他					その他									
38				中学生	{ }					{ }									
39				高校生															
40					件数 計	1	-					1	-			-	1		
41				(4)子育てグループを育成・支援する活動	グループ名	構成人数		活 動 内 容					育成・支援内容			成果と課題			
42																		つどいの広場（どんぐり広場）との連携事業「とび出せ!! どんぐり広場」の中で、地域の子育てサークル「ひなたぼっこ」と連携して開催される日には、サークルメンバーが参加されるので、共催する中で子育てサークルを支援していくことができた。参加メンバーが保育園に入園されるなどもあり、サークルの次期メンバー確保やリーダー後継者などの課題も発生しているが、次年度も同様の方法で展開されるので、継続して間接的に支援していく。サークルの取組会場として、児童館も利用可能である旨は伝えていく。	
43				(5)子育てと健全育成に関する啓発活動	活動名	実施回数		活 動 内 容					成 果 と 課 題						
44					「京都市家庭ごみ有料指定袋無料引換券」の引換			京都市は、出産家庭に対して「こんにちは赤ちゃん事業」による保健師の家庭訪問時に「出産お祝いレター」「子育て応援パンフレット」等とともに、「京都市家庭ごみ有料指定袋無料引換券」を配布されている。この引換を児童館ですることによって、引き換えの際に児童館を知ってもらえる機会としている。					東山区総合庁舎の一角にあり他施設と合築の為、保健センターで引き換えられることが多いようで、児童館まで足を運ばれることは少ないが、今年度は4件引き換えがあった。引換に来られる方は既に児童館を知っておられることが多く、引き換えを通して児童館の存在をアピールすることまでには至っていない。						
45																			
46																			
47																			
48																			
49																			
50																			
51																			
52																			
53																			
54																			
55																			
56																			
57																			
58																			
59																			
60	※注 基本活動は、指針に基づき(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動〔①乳幼児クラブ活動 ②乳幼児の広場活動〕(2)家族参加を促す活動に分類して記入すること。																		

地域福祉促進機能	基本活動	(1) 地域住民との交流を促進する活動	活動名	実施回数	主催	参加人数						連携団体	成果と課題		
						乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生			大人	合計
							自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ					
			六原フェスタ運営委員会	2	六原自治連合会ロクフェス2025実行委員会								東山警察署、東山消防署、開晴小中学校、清水児童館、六原学区内各種団体	・当日に向けての打ち合わせ会議に参加し、フェスタの事前準備の持ち方や当日の展開の仕方についての共有をする。今年度は雨天で会場が室内開催となった。今後も地域と関係を築きながら繋がっていきけるようアピールする機会となった。	
			六原フェスタ	1	六原自治連合会ロクフェス2025実行委員会								東山警察署、東山消防署、開晴小中学校、清水児童館、六原学区内各種団体	・今年度は雨天のため、六原学舎内で実施。ステージ催しと模擬店やゲーム、作品展示の地域の文化祭。児童館からは職員のみならず高学年クラブや児童館の子ども達の作品展示で参加。児童館として地域住民の方とふれあいながら準備し、地域の方に児童館をPRする良い機会となった。	
			東山区民ふれあいひろば2025	1	東山k民ふれあい事業実行委員会(事務局:東山区地域力推進室)								東山区内の地域包括支援センター、東山区社会福祉協議会、保護司会、東山総合支援学校、更生保護女性会、消防署・消防団、警察署、と手感、青少年活動センター、児童館、他各種団体や企業	・9月21日(日)開催。日曜日開催のため、当館は事前に高学年クラブなど子どもたちの造形作品や、学童クラブや来館児童の作品を展示。東山区内の児童館全体のコーナー展示を行う。総合庁舎全体で行われる大きな区民ふれあい広場において、児童館のPRをする機会となった。	
			ひがしやま子どもあきまつり	1	京都市東山区社会福祉協議会、幼児東山区まちじゅう図書館、プロジェクト子育てコミュニティベース「ひなたぼっこ」、ひがしやママ								乳幼児～小学生までの親子向けの子どもあきまつり。やすらぎ・ふれあい館を会場に、東山区内の関係団体や機関が協力して体験コーナーや遊びのコーナーを展開。	・今年度の開催日が11月16日(日)の開催で、児童館への実行委員会への参加や当日のお手伝いにも出向いてはいたため、地域の子育て世代の保護者や子育て支援に関わる団体と共に、事前の打ち合わせ会議の際、関係団体との顔合わせ交流やグループワーク研修などの取り組みには参加できなかった。地域の子育ての団体と地域の現状を共有し交流するひときは、別の機会に持つこととした。	
			東山区 鉄道模型が走るつながるカフェ	1	東山区地域福井推進委員会(事務局東山区社会福井協議会)、東山区役所健康長寿推進課		9					9	京都大学鉄道研究会、東山図書館、タカラサブライコムニケーションズ株式会社	12月13日(土)開催。図書館との連携や、健康長寿推進課、区社協との連携もあり、チラシやポスターでの広報協力をする。また、図書館のブースやクイズラリーもあり、協力を得ながら、来場者やスタッフさんや協力者の方々と交流も持て、日頃体験できない貴重な体験のできる機会となった。	
			子ども交通安全教室&ワークショップ	1	清水児童館		8	3				3	14	東山警察署	東山警察署の交通安全課の方に来ていただき、自転車の安全な乗り方や夜道での安全な服の色などを教えていただく。講義も参加型でわかりやすく子ども達も楽しんで学べていた。
			防犯教室	1	清水児童館		16	5	7		1	29	東山警察署、スクールサポーター	生活安全課の協力を得、スクールサポーターさんから、子ども達に不審者と遭遇した時にはどうすべきかの学習をする機会が持てた。クイズ形式の手作りの教材を準備して下さり、楽しく学ぶことができた。	
			東山老人福祉センター同好会発表会・作品展での発表	1	東山老人福祉センター		8	5			4	17	清水児童館	・事前に募集した出演者とその保護者の希望者や学童クラブの中で見学を希望する子どもたちが参加する。子どもたちのダンスやワープ回し、作品紹介に会場の多世代の方々や手拍子やダンスの真似をして下さる姿や、ラキューの大変さなどを感じてみて感心して驚いておられ、作った子どもたちに暖かな言葉をくださるなど、貴重な体験ができた。	
			東山ふれあいリレーマラソン	1	東山玖はぐくみネットワーク実行委員会		10	5				15	東山区内の地域女性会、少年補導委員、民生児童委員、京都市行政、他各種団体、清水児童館	今年度は、開晴小学校第2アリーナで開催されることもあり、館長は「東山区はぐくみネットワーク実行委員」のスタッフとなり事前の打ち合わせから参加。児童館からは申し込みのあった学童クラブ児童を引率して参加。地域の多くの役員さんや参加の多世代の方々を受け付けてもらったり、声援を受けたり、参加費をもらうなどして触れ合うひとときも持てた。	
			Let's子ども百鬼夜行	1	清水児童館		7	16	7	3		33	開晴小中学校	・妖怪などの衣装を身に付けて地域をパレードをして庁舎内の、図書館、老セン、青少年活動センターまでパレードする。それぞれの個所では事前に実行委員の子がお願いをしを護送しておいたお菓子をプレゼントしてもらった。戻ってきたら、子ども実行委員会のメンバーが企画や進行を担い、百鬼夜行に因んだ室内ゲームや取り組みを展開し、参加者は楽しく交流するひとときを持つことができた。	
			左京東山児童館・学童保育所 やんちゃフェスタ	1	京都市児童館連盟							0	左京東山の児童館	・今年度は天気予報を見て、事前に引率参加中止と県男子、学童の子ども達を引率することはしていない。	

			すくすくひろば前日準備	1	東山区地域子育て交流事業「すくすくひろば」実行委員会（東山区内の児童館・つどの広場、東山区社会福祉協議会、東山区役所子どもはぐくみ室						28	28	東山区内の保育園（所）・認定こども園・幼稚園・東山区民生児童委員会、東山区町図書館プロジェクト、京都府東ロータリークラブ	・東山区内の乳幼児向けの広場を、区内の関係機関が連携し、それぞれの機関が協力し合って実施することができた。 ・いろいろな遊びのコーナーやステージを展開。 ・「すくすくひろば」の参加者同士、参加者とスタッフ、スタッフ同士が広場を通して交流できた。				
			すくすくひろば	1	室	37					39	76						
			合計	14	—	37	7	44	51	95	0	75	309					
地域	福祉	基本活動	進	機	能	(2) ボランティア活動の推進		遊びのボランティア 1名の登録有り							・昨年度と引き続き、児童館利用者や元学童クラブの中高生が、自分たちの遊びたい時や先生と話したい時、小学生と一緒に遊びたいと思った時に来館し、自分も遊びに入りながら、良きリーダーとして活躍してくれた。日常的にボランティアにきてくれるようになり、子ども同士のトラブルに自分なりに途まで対応したりする姿も見られた。次年度は大学受験生になるので、なかなか今年度のようにはいかないと話しているの、また次に続く遊びのボランティアの中高生になりたいという子の存在に期待したい。			
						学習ボランティア 前年度末の話では引き続き2名が登録見込みであったが、1名が都合悪くなり1名のみが登録。							144			144		・大学生2名が、学習支援ボランティアとして登録し、子ども達の宿題をみてくれた。その後も一緒に遊び、子ども達との信頼関係も築くことができた。個別対応の必要な子たちへの関わりも上手く対応してもらっていた。次年度は継続も困難なようなので、登録者を待つ状態である。大学生の学習支援ボランティアに登録してくれるようになり、遊びのボランティアの高校生がうまく引き継いでいってくれるよう期待している。
						合計	161	0	0	161								
						連携団体等	連携内容	成果と課題										
			東山区子どもはぐくみ室		・児童館だより配布 ・情報誌「ふわりん」の記事掲載協力、ポスター作成、WEB情報提供、 ・4か月検診時待合室託児＆東山の児童館PR ・0歳児教室・乳幼児教室の子育て講座講師派遣：管理栄養士、保健師、歯科衛生士 ・「ふわりん横丁」交流会での児童館職員による手遊びやパネルシアター、活動紹介 ・東山区地域子育て交流事業「すくすくひろば」における東山区内の関係機関や団体への呼びかけ、協力依頼等 ・乳幼児さんよっといデー「ちびっこハロウィン」での、はぐくみ室職員さんによるプレゼンター、フォトスポットコーナー担当								・児童館だよりの配布や情報誌の発行に向けての記事掲載協力、ポスター作成、東山区の子育て情報やWEB上での情報提供等は、連携の中で問題なく取り組めた。 ・「0歳児教室」および「乳幼児教室」における子育て講座の講師による専門家の視点での指導を受けたり、育児の悩みに対応してもらうことができる貴重な機会となった。 ・子育て講座で学べる機会を求めている保護者が当日参加できなくて、参加者が少ないという状況である。その日の天候や体調、都合で参加に繋がらないことがあった。公開されているWEB講座の紹介などを取り入れて、フォローしていくことも検討していきたい。 ・年度当初は、前期後期ともに講座を予定していたことを途中で変更し、回数を少なくし、保護者が交流しながら工作のできる機会を持つことも取り入れた。 ・「すくすくひろば」においては、広く東山区内の乳幼児向けの広場を、共に各関係団体や機関の方々と連携、協力を得て開催することができた。					
			東山図書館		・児童館だより配布 ・おたのしみ会参加(月1回) ・あかちゃんのおたのしみ会参加(月1回) ・子ども読書の日記念事業お楽しみ会等の図書館事業の周知協力と参加 ・0歳児教室・乳幼児教室の子育て講座「赤ちゃん絵本」の講師派遣等 ・そのほか、図書館独自の淹にわたるコラボ事業への広報協力や参加協力								・「あかちゃんのおたのしみ会」では、直接PRできる機会となり児童館へ来られる機会に繋がっている。PRの機会として大事にしていきたい。 ・0歳児教室の子育て講座では、読み聞かせの実演や絵本の紹介、絵本の選ぶポイントなどの話と、赤ちゃんとのふれあいのツールや言葉のシャワーの役目であること、読み方についてのきまりがあるわけではないことなど、子育てに関わる方々向けに話をしていただく。 ・「おたのしみ会」や図書館の企画行事を色々案内していただき、周知協力と共に、学童クラブの児童に呼びかけ参加に繋がったり、学童クラブの図書館行事への興味がある保護者にも声掛けをし、家族での参加に繋がった。 ・図書館独自の様々な団体とコラボされている魅力的な取り組みが開催され、都度広報協力する。土曜日の来館児童がその取組みに参加し、様々な体験の幅を広げる機会となった。 ・階下が図書館であるので、児童館や学童クラブでの図書館を利用する子ども達が多々いる。利用の仕方やマナーの面で子ども達に注意することもあった。常に情報を共有しながら、図書館と共に子ども達の豊かな感性の育ちに繋がるよう、読み聞かせや読書の機会を大切にしていきたい。					
			六原・清水 学区自治連合会・民生児童委員		・児童館だより地域回覧依頼 ・六原フェスタ運営委員会 ・まつり等の地域行事への要員参加をしゲームコーナー展開 ・「すくすく広場」他、行事の中での民協さんとの連携 ・乳幼児教室や乳幼児さんよっといデーにおける民生児童委員さんとの連携 ・東山ふれあいりレーマラソン								・地域主催のまつり等の実行委員会に参加し、共に準備をして繋がりを深めることができた。 ・その行事の参加者に向け児童館のPRを行う機会となった。 ・乳幼児事業の見学や支援に民生児童委員さんに声掛けをして、来てくださることによって、地域の民生児童委員さんの立場や役割の紹介などする機会にもなり、顔見知りになることに繋げることができた。 ・今後も、地域の情報の共有や、行事の連携、児童館への支援をいただく関係を促進していきたい。					
			東山老人福祉センター		・相互のたより交換、事業案内ポスター。呼びかけなど ・多世代交流事業参加 東山老人福祉センター同好会発表会・作品展で清水児童館からの発表								・東山老人福祉センター主催の同好会発表会・作品展の文化祭行事のステージ発表に参加。事前のリハーサルや本番を通して、日頃と違う環境の中で多世代の地域の方との交流ができた。地域の方には、小学生のダンスやフープ演技、ラキュー作品新鮮で喜んでいただけ、客席から手拍子や拍手、真似て踊られる姿などあり、子ども達も達成感が見られた。 ・多世代交流の行事として、今後も相互に有効な取組を企画していきたい。					
			東山消防署		・防災訓練協力依頼 ・乳幼児親子防災講座&避難訓練と消防車見学									・月1回の防災訓練のうち、年3回は協力依頼して評価を頂いている。 ・乳幼児親子へ防災啓発活動としての親子防災講座・消防車見学は人気がある。				

地域福祉促進機能	基本活動	(3) 地域との連携を促進する活動		
		三条保育所	・相互のたよりの交換、取組のPR協力	・広報誌の交換を行い、相互の事業についての情報交換が行えた。拠点保育所でなくなってからは近隣の保育園との距離よりも遠く情報交換もしにくくなったが、より良い支援者支援の保育所との連携の仕方を検討していきたい。
		善立寺保育園	・児童館だより配布 ・「おでかけぼっぼ」で保育園の園庭に「移動児童館」として出向き、地域親子の遊び場提供 ・学童児童への支援に関する情報共有等	・「おでかけぼっぼ」では、例年近隣の保育園2か園と連携して「移動児童館」として実施しているが、参加者は少ない。 ・次年度も、相互の事業の効果的な周知や互いの機能を尊重しながら連携の在り方や展開の仕方を検討していきたい。
		しんかくじこども園	・児童館だより配布 ・「おでかけぼっぼ」で保育園の園庭に「移動児童館」として出向き、地域親子の遊び場提供 ・学童児童への支援に関する情報共有等	
		開晴小中学校	児童館だより配布、学童児童・中学生への支援に関する情報共有等	・東山開晴館小中学校とは、常に連携は図っている。要支援児童、家庭についての相談は、必要に応じて進めることができている。
		つどいの広場（どんぐり広場）	児童館だより配布 「とび出せ!!どんぐり広場」の活動への参加呼びかけや周知協力、活動への児童館職員参加 乳幼児さんよっといデー「ちびっこハロウィン」の共催、「どんぐりコンサート」	・開催日に出向き、児童館のPRをする。また、地域の子育てサークルと連携しての取り組みとされているので、サークルとの繋がりや情報交換の場としても良い機会となった。 ・今年度も「ちびっこハロウィン」の中で、室内でハロウィン向けの絵本や楽しい歌遊びを担当していただき、「子どもはぐみ室」までの庁舎内ミニパレードでの見守りを担当していただく。連携をしたことで、楽しい遊びの提供やパレードの安全確保に繋がった。
		東山区役所 健康長寿推進課	・がん検診普及啓発事業の協力。啓発のメッセージの入った児童に父の日、母の日のカードに子どもたちが自分の親に向けて手紙や絵を描いて渡す。 ・「東山区鉄道模型が走る つながるカフェ」広報協力と、参加協力	・子どもたちに呼びかけたり、ポスターで知らせ、希望者のみがカード作りをしたり、「つながるカフェ」などの事業については、保護者の目の届くところに掲示したり、鉄道好きな子どもたちや絵本好きな子どもたちに向けて周知する。
		東山区役所地域力推進課	・東山区民ふれあいひろば他、区民の催し物の広報、参加協力 ・当館独自及び東山の児童館や各種団体との共催行事への施設利用協力 ・児童館の施設管理面や雨漏りに関する共有 ・大型ゴミ回収時の駐車スペースの利用協力 ・駐車場無料処理機器を児童館に設置 ・古紙回収案内	・区民向けの行事の企画段階で、児童館としての協力をどのような形で可能かを相談協議。 ・「東山区民の広場」については、開催が日曜日であったため、事前対応できる作品展で東山の児童館をPRをする。
		東山区子育て支援調整会議 健全育成部会	2月16日（月）東山区子育て公演会 子どもの困りへの寄り添い力～発達の視点から～の広報協力を児童館が来館の保護者に、チラシ配布や案内をして参加を呼びかける。職員も可能な限り参加して研修の機会と、地域の方々との連携の促進に努める。	・保護者に向けての周知はしたが、実際にどれだけの参加があったかまでの把握はできていない。 ・開催時間が午後2時～3時半ということで、学童クラブの保育時間中で、職員は館の体制上、参加できなかった。当館独自では依頼できない規模の講師を招かれる貴重な講演の機会ではあるが、開催時間的に難しい面がある。今後は開催時間についての検討を希望して参加体制を作っていけたらと考える。
東山区社会福祉協議会	・児童館だより広報協力、自治連の窓口役となつてもらう。 ・「ひがしやま こともあきまつり」～子どもをまんながに、みんなであそぼう！ふれよう！つながろう！ひがしやま～の案内。児童館で掲示や配架協力。参加者への呼びかけ。 ・子どもの居場所支援の輪サポート事業「子どもの居場所情報交換会等、東山区内の子育て支援団体などの情報交換や交流、研修などの企画。案内を受け参加。 ・東山区まちじゅう図書館プロジェクト「ルーミー図書館」「ひだまり図書館」の案内。ポスターやチラシの掲示など。 ・とび出せ!!どんぐり広場の活動場所の拠点。児童館職員参加。 ・子育てコミュニティベースin 東山「ひなたぼっこ」活動拠点。「とび出せ!!どんぐり広場」の活動日には、児童館から参加。 ・ボランティア保険や館外活動時や事業の際の保険に関するの窓口。 ・東山区民向けの行事への協力。ブロックまつりの協賛金協力。	・自治連や子育て関係機関の集まりの案内や参加要請を受け、児童館からも参加したり、いろいろな子育て支援機関の交流会や研修会にも可能な限り参加し、地域の主任児童委員さんや、東山区内の小学校区を超えた東山泉の方の方とも顔見知りになることができた。		
京都洛東ロータリークラブ	ロータリー社会奉仕事業「鴨川清掃活動と身体を動かしBBQ」のポスターやチラシ掲示等	・東山区の事業の同じ共催団体でもあり、事業の広報協力依頼があり協力する。日曜日開催の事業だったので、児童館としての参加はできないが、掲示周知をしたことで、児童の家庭から親子参加されるケースもあり、貴重な体験ができたという話を聞いた。		
東山青少年活動センター	・児童館だよりの配架依頼 ・子ども百鬼夜行の際のプレゼンターになってもらう。 ・若者文化の情報発信や様々な分での想像表現活動の応援施設であり、スタジオや部屋を借りたり、講師派遣を依頼する。 ・状況に応じて青少年活動センターと児童館の中高生利用における情報共有。	・「Let's子ども百鬼夜行」において、立ち寄りポイントとしての協力を得る。 ・一般来館の小学校高学年や中学生が青少年活動センターのフリースペース利用と児童館を使い分けて利用している様子が見える。		
東山地域体育館	児童館、学童クラブの取組で利用する。	・夏休み中、熱中症の危険があるため、テラス遊びを中止することが多くなるので、庁舎内の東山地域体育館の利用手続きをし、抽選結果により利用可能な日に体育館での運動遊びをすることができた。		

	A	B	C	D	E	G	H	I	J	K	L	M
1												<様式10-4>
2				令和7（2025）年度	児童館事業年間	活動報告書					（京都市清水）児童館	
3												
4				組織名称	構成団体・個人	会議／取組頻度	議題／取組内容	成果と課題				
5												
6												
7												
8				開晴小学校区ステーションネットワーク会議	清水児童館、新道児童館、今熊野児童館、三条保育所、小松谷ありんこ広場、はぐくみ室、しんかくじこども園、善立寺保育園、小松谷保育園、光保育園、華頂短期大学付属幼稚園	①5月22日 ②3月3日	・各機関の情報交換、情報共有 ・東山区地域子育て交流事業について	・関係機関が連携して実施することができ、次年度以降も続けていけるよう取り組む。支援者同士の顔が繋がり、また、乳幼児親子にも好評である。				
9	地		(4)児童館を支える地域組織作り	東山区地域子育て交流事業「すくすくひろば」実行委員会	主催：児童館、つどいの広場、社会福祉協議会、はぐくみ室 協力：保育園（所）認定こども園、幼稚園、民生児童委員会、まちじゅう図書館プロジェクト	①6月18日 ②9月11日 ③12月19日	東山区地域子育て交流事業の開催に向けて協議					
10												
11	域			東山区地域子育て支援ステーション研修	東山区域児童館、保育園、こども園、民生児童委員、はぐくみ室	①2月3日	①「発達障害って何だろう、特性と支援を考える」	地域の子育て支援関係者が繋がり、学びを深める機会となった。				
12												
13												
14	基本			東山区はぐくみネットワーク実行委員会	ボーイスカウト連盟、民協、社協、保護司会、少年補導委員、児童館、区役所、市教委等	①5月19日 ②6月16日 ③7月31日 ④8月29日 ⑤10月9日 ⑥11月13日 ⑦12月18日 ⑧1月30日 ⑨3月2日	①今年度の取り組みと役員顔合わせ ②東山区民ふれあいひろば、東山ふれあいリレーマラソン、敬老メッセージ ③同上 ④研修会「薬物依存について」 ⑤東山リレーマラソン、ふれあいひろば進捗状況確認 ⑥東山リレーマラソンの前日準備 ⑦情報交換と活動の振り返り ⑧今年度の総括と来年度の方向性	・東山区全体を対象に各団体が参加し、行事や研修を通して子どもの健全育成について考える場であり、繋がることができている。 ・実行委員会に参加することで、地域の皆様と顔が繋がり、健全育成に対する声を直接聞くことができるのは、大きな成果である。				
15	社											
16	促進			東山区地域福祉推進委員会	東山区民生児童委員会、主任児童委員、老人福祉員、東山医師会、東山区社会福祉協議会、当事者組織、福祉施設、行政機関	①6月23日	令和6年度報告、令和7年度取組	・地域の福祉課題について関係機関と繋がることができ、視野が広がった。				
17	機能			ひがしやま子どもあきまつり事前説明会・交流会	主催：東山区社会福祉協議会、子育てコミュニティベースひなたぼっこIN東山、東山まちじゅう図書館プロジェクト、ひがしやまママ	11月16日	東山区内で取組んでいる子育て支援や子どもの居場所の取組について多くの世帯に知ってもらう機会として実施。イベントを通して団体同士のつながりをつくり、ともに考えるきっかけの場となることを目指す。	今年度は日曜日の開催で説明会等に参加がなかった。関係団体やグループとは別の機会に交流できればと考えている。				
18				第4号会員 社会福祉事業施設部会	主催：東山区地域福祉推進委員会 参加対象：学区社会福祉協議会・区民生児童委員会・老人福祉委員・区共同募金会・社会福祉施設・社会福祉関係団体・機関・ボランティア・NPO団体・行政機関の関係者	4月17日	役員改選に伴う次期理事・評議員候補者の選出に関する件について	・児童福祉だけでなく地域の福祉課題を共有することで、子どもの育つ地域への理解を深めることができた。				
19												
20				会場提供・備品貸出等	使用目的	提供先（団体・機関等）	成果と課題					
21												
22	推進		(5)地域への施設提供	遊戯室	交通安全啓発事業及び防犯教室	東山警察署	・東山警察署主催の交通安全啓発のための取組を夏休みに遊戯室で開催した。児童館や児童の住まいが交通量の多い街中にあるので、児童がルールや自身を守るためにすべきことを学ぶ機会として定期的に開催していきたい。					

	A	B	C	D	E	F	G
1							<様式10-5>
2		令和7(2025)年度 児童館事業年間活動報告書 (京都市清水) 児童館					
3							
4	5	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
6							
7	報	児童館だより	月1回	清水学区自治会連合会、清水学区自治連会長、清水民生児童委員会、六原自治連合会、六原自治連会長、六原民生児童委員会、来館者・学童クラブ児童保護者	地域回覧・配布・「京都の児童館」のホームページの中での、インターネットでの広報	予定・お知らせ・取り組みの様子	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は特に、写真掲載について参加に繋がるように、楽しい雰囲気伝わる者や、参加者で賑わっているような写真を選ぶように心掛けた。 ・写真掲載については、今年度も掲載に当たる許可を事前に書面できとり、掲載時には個々の承諾の範囲内で掲載ができるように配慮した。
8				東山総合庁舎南館掲示板、東山総合庁舎外掲示板、当館廊下掲示板、当館室内遊戯室掲示板、東山子どもはぐくみ室、東山老人福祉センター、東山図書館、市社協館長会、第3ブロック施設長会、どんぐり広場(つどいの広場)、善立寺保育園、しんかくじこども園、三条保育所、東山いきいき市民活動センター、東山青少年活動センター、東山ファミリーホーム、東山区社協、清水郵便局、ハッピー六原掲示板	掲示、窓置き		
9	活	行事のミニビラ・申込用紙	随時	児童と保護者 参加者や登録制の活動の申し込み希望者	利用者に配布	行事内容(日程・時間・企画)	<ul style="list-style-type: none"> ・活動のお知らせポスターや、チラシの発行はタイミングよく作り周知した。今後も、余裕を持った準備と配布に心がける。
10		館外活動参加申込み用紙	年4回程度	児童と保護者 参加者や登録制の活動の申し込み希望者	利用者に配布	行事内容(日程・時間・企画)	
11	動	行事PR看板・ポスター等	随時	地域全域・庁舎利用者 児童館利用者	設置・掲示	<p>各行事の詳細を記載したポスターやチラシの作成配布ホームページへの掲載。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合築のため大きな看板などの設置は難しいが、外の掲示板の有効利用や、南館1階ロビーの掲示板、必要に応じて地下のエレベーター横の壁面などにも一時的にポスター掲示をするなど工夫できた。ホームページの活用については、更に内容を充実させて、積極的なPRに努めたい。 ・区役所のデジタル掲示板の活用は現在していないが、行事によっては活用したい。 	